

**防水形デジタル台はかり**

**DP-6301 II**

**取扱説明書**



信頼・技術・創造

**大和製衡株式会社**

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書は保存し、必要などきにお読みください。

# はじめに

この度は、デジタル台はかり “DP-6301 II” をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。

このはかりは、IP65の防水・防塵設計を採用したデジタル台はかりですので、工場・一般店頭でのご使用はもちろんのこと、鮮魚・青果関係・農家等の幅広い分野でお使いいただけます。また、お客さまの用途に合わせた設定ができる「マルチファンクション機能」や、オプション対応として「無線通信機能」など画期的な機能を搭載しております。

この“DP-6301 II”をいつまでも最適な状態でお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みいただき、十分にご活用くださいますよう、お願い申し上げます。

## 目次

---

	頁
1章 ご使用前にお読みください	
1-1. 安全に正しくお使いいただくために	1
1-2. 使用上の注意とお願い	3
1-3. このような機能があります	4
1-4. 製品の構成	5
1-5. 各部の名称	5
1-6. はかりの性能を維持させるために	6
2章 ご使用前の準備について	
2-1. 組み立て時の注意事項	7
2-2. 設置場所について	7
2-3. 表示部及びキー部について	8
3章 基本操作について	
3-1. 電源プラグをコンセントに差し込みます	9
3-2. 計量のしかた	9
3-3. 零点リセットのしかた	9
3-4. 電源オフのしかた	9
4章 ワンタッチ風袋引きについて	
4-1. ワンタッチ風袋引きのしかた	10
4-2. 風袋引き中の総量の確認のしかた	10
4-3. ワンタッチ風袋引きの取り消しかた	10

# 目次

---

	頁
5章 自動風袋引き機能について	
5-1. 自動風袋引き機能について .....	11
5-2. 自動風袋引き機能の設定のしかた .....	11
5-3. 自動風袋引き機能の使いかた .....	11
6章 ユーザパラメータについて	
6-1. ユーザパラメータについて .....	12
6-2. ユーザパラメータの設定のしかた .....	12
6-3. ユーザパラメータ表 .....	12
6-4. 各ユーザパラメータの説明 .....	15
7章 マルチファンクション機能について	
7-1. マルチファンクション機能について .....	18
7-2. マルチファンクション機能の選択のしかた .....	18
8章 マルチファンクション機能の使いかた	
8-1. 定量計量機能の使いかた .....	19
8-2. チェッカ機能の使いかた .....	22
8-3. ランク選別機能の使いかた .....	25
8-4. 計数機能の使いかた .....	30
8-5. 減算式チェッカ機能の使いかた .....	32
9章 取引証明以外用について	
9-1. 取引証明以外用について .....	35
9-2. 取引証明以外用のユーザパラメータについて .....	35
9-3. 使用地域別の重力加速度補正について .....	35
9-4. 分銅校正方法について .....	37
10章 その他	
10-1. オプションについて .....	38
10-2. エラー表示について .....	39
10-3. 仕様書 .....	43
10-4. 外観寸法図 .....	45

## 1章 ご使用前にお読みください

# 1-1. 安全に正しくお使いいただくために

ご使用前にこの「安全に正しくお使いいただくために」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。この「安全に正しくお使いいただくために」は、安全にお使いいただき、ご使用される方や他の方々への危害や財産の損害を防止するためのものです。また、本取扱説明書は大切に保管してください。

●表示と意味については次のように定義しています。



### 危険

：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 警告

：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり財産の損害を受けたりする可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される、及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



### 禁止

：してはいけないことを表しています。



### 強制

：しなければならないことを表しています。

●この製品のご使用前に、以下の“危険”、“警告”、“注意”事項をよくお読みいただき、理解し遵守してください。



### 危険



：感電事故を避けるために

- (1) 漏電による重傷事故を避けるために必ずアース線を接続してください。
- (2) 電源コードは、足、運搬車などの車輪で踏まないようにしてください。
- (3) 指示部等ネジ止め部は、絶対に外さないでください。
- (4) 電源プラグの抜き差しは、プラグの樹脂部を持って確実にこなってください。



：爆発、引火事故を避けるために

防爆機能を備えておりません。

可燃性ガス、危険物等の存在する場所での使用は避けてください。





**：火災、感電事故を避けるために**

万一煙が出ている、異臭がする等の異常状態で使用すると、火災、感電の原因となります。

すぐに電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

煙が出なくなるのを確認して購入先に修理をご依頼ください。

お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。



**警告**



**：傷害、損害事故を避けるために**

- (1) 計量部に被計量物を載せる場合には、荷崩れ、落下がないように載せてください。
- (2) 使用後は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- (3) はかりの隙間、穴等に指を入れないでください。
- (4) 一切の分解、改造はしないでください。
- (5) はかりの持ち運びや移動の際は、必ずはかり底面を両手で持って持ち上げてください。  
(無理な姿勢での持ち運びや、指示計部または支柱部を持っての持ち運びは絶対にしないでください)



**注意**



**：本機を損傷させないために**

- (1) 表示部、キー部を爪や先の尖った物で押さないでください。
- (2) 電源電圧、使用環境を遵守してください。
- (3) ひょう量以上の物を載せないでください。
- (4) 計量部に被計量物の落下等による過度の衝撃や振動を与えないでください。



**：はかりの性能を維持させるために**

- (1) 振動を発生する器具類の近くに設置しないでください。
- (2) 直射日光の当たる場所や冷暖房機の風が当たる場所には設置しないでください。
- (3) 丈夫な床、台上に設置してください。
- (4) 使用温度範囲（-10～40℃）以外では使用しないでください。
- (5) はかりは水平な状態で使用してください。  
(はかりが水平でない時は調節脚で水平を確実に合わせてください)

## 1-2. 使用上の注意とお願い

### ●故障の原因

- (1) 一切の分解、改造はしないでください。
- (2) 表示部、キー部を爪、先の尖った物で押さないでください。
- (3) 計量部に被計量物の落下等による過度の衝撃や振動を与えないでください。
- (4) はかりの上に物を落としたり、飛び乗ったり、はかりを落下させたりしないでください。
- (5) シンナー・ベンジン等では拭かないでください。

### ●計量不良の原因

- (1) 火気・蒸気の近く、直射日光や冷暖房機の風が当たる場所で使用しないでください。
- (2) 過度の衝撃や振動及び強い電磁波が発生する機器類（電子レンジ等）の近くでは使用しないでください。
- (3) 荷重に充分耐えられる水平で安定した場所で使用してください。
- (4) 指定の使用環境にて使用してください。（使用環境 $-10^{\circ}\text{C}\sim+40^{\circ}\text{C}$ ， $30\% \text{RH}\sim 85\% \text{RH}$ ）尚、指定の環境範囲内であっても、下記のように結露が発生する状況下では計量不良が起こる場合があります。
  - 1) 高湿度の環境下で長時間使用又は保存されたとき。
  - 2) 湿度が低くても急激な温度変化を与えたとき。（冷水などをはかりにかける。）
  - 3) はかりに冷蔵庫等の冷氣、又は湯気、水蒸気などがかかる雰囲気で使用したとき。
- (5) ロードセルに直接アルコールや次亜塩素酸ナトリウムなどの薬品を噴霧しないでください。

### 保管・廃棄について

#### ●保管場所について

- (1) 高温／多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって動作しなくなる場合があります。
- (2) はかりは精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所・加わりやすい場所での保管は避けてください。



#### ●廃棄について

はかりを廃棄する場合、はかりは産業廃棄物（燃えないゴミ）となります。廃棄方法については、各自治体で定められている廃棄要領に従って、正しく廃棄してください。

### 始業時点検のお願い

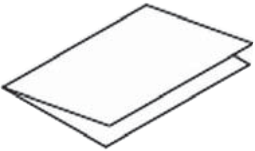
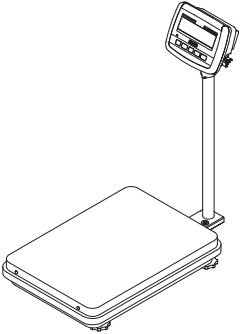
計量法では、適正な計量の実施を求められており、始業時の点検、質量チェックを実施してください。

### 1-3. このような機能があります

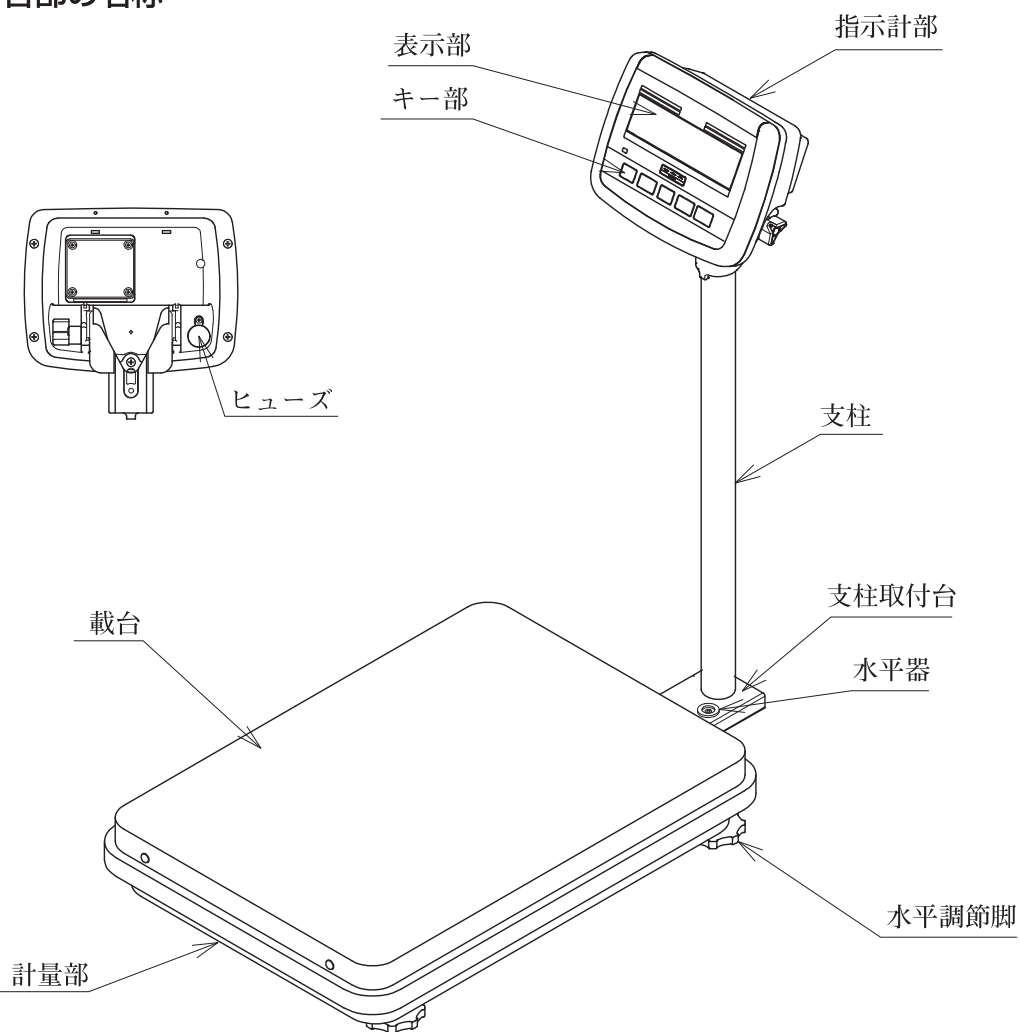
デジタル台はかりDP-6301 IIには、下記のような機能があります。作業の目的に応じてお役立てください。

目 的	方 法
<p><b>【ディマータイマー機能】</b> 使っていないときは省電力モードにしたい。</p>	<p>使用しない時間がパラメータで設定した時間分続くと、輝度を最も暗い状態に自動変更することができます。</p>
<p><b>【ワンタッチ風袋引き機能】</b> 計量物または容器の質量を0表示させたい。</p>	<p>風袋キーを使ってワンタッチで風袋引きすることができます。</p>
<p><b>【自動風袋引き機能】</b> 風袋を載せた時点で風袋引きを行いたい。</p>	<p>零点確認後に最初に載せた品物（風袋物）を自動で風袋引きすることができます。</p>
<p><b>【総量・正味量切り替え機能】</b> 計量物の総量または正味量が知りたい。</p>	<p>風袋引き中に、総量・正味量キーを使って表示を切り替えることができます。</p>
<p><b>【定量計量機能】</b> パック詰め作業の歩留まり率を向上させたい。 ※この機能は取引証明用にはお使いいただけません。</p>	<p>過不足量を表示しますので、歩留まりの向上に役立ちます。 最大99品種のデータ登録ができます。</p>
<p><b>【チェッカ機能】</b> 目標質量に対して適量であるか確認したい。</p>	<p>現在の入れ目が目標質量に対して軽量・適量・過量であるか、瞬時に把握することができます。 最大99品種の上下限登録ができます。</p>
<p><b>【減算式チェッカ機能】</b> 取り除き計量動作でチェッカ機能を使用したい。 ※この機能は取引証明用にはお使いいただけません。</p>	<p>取り除いた質量値が目標質量に対して軽量・適量・過量であるか瞬時に把握することができます。 最大99品種の上下限登録ができます。</p>
<p><b>【ランク選別機能】</b> 計量物をより効率よくランク選別したい。 ※この機能は取引証明用にはお使いいただけません。</p>	<p>加算式、減算式のランク選別ができます。 15ランクの設定で最大12品種、2ランクの設定であれば最大66品種のデータ登録ができます。 ランク選別時は通常の日量よりも細かい目量で設定することができます。(P.43「ひょう量系列」参照)</p>
<p><b>【計数機能】</b> 計量物の個数を瞬時に把握したい。 ※この機能は取引証明用にはお使いいただけません。</p>	<p>質量から品物の個数を計算します。個数チェックに最適です。</p>

## 1-4. 製品の構成

付 属 品	はかり本体	オプション
<p>●取扱説明書、保証書</p> 		<p>工場出荷時に別途付属 ※P.38「オプションについて」参照</p>

## 1-5. 各部の名称



## 1-6. はかりの性能を維持させるために

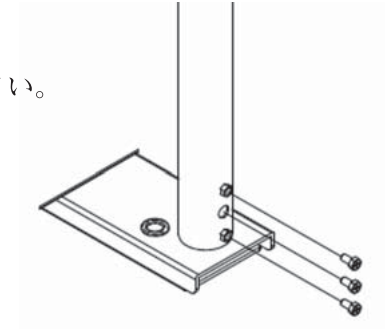
- 計量部カバーを洗浄する場合は、きれいな水で洗浄し、その後に乾いた清潔な布で確実に水分を拭き取ってください。  
海水、汚れた水、不純物の入った水を使用すると故障の原因になります。
- はかり全体の汚れを落とす場合は、柔らかい布を使用してください。たわしやブラシなどは使用しないでください。
- 中性洗剤で洗浄される場合は、中性洗剤をスポンジに含ませ拭き取った後、必ずきれいな水で洗浄し、その後に乾いた清潔な布で確実に水分を拭き取ってください。
- はかり全体をアルコール消毒する場合は、アルコール濃度80%以下の溶液を布に含ませ拭き取った後、必ずきれいな水で洗浄し、その後乾いた清潔な布で確実に水分を拭き取ってください。表示部はきれいな水で洗ってください。
- 分解や改造は絶対にしないでください。防水性を損なう原因になります。  
万一、誤って分解したときは、必ずご購入された販売店まで連絡願います。
- はかりを落としたり、テーブルなどの固いものに当てたりしないでください。
- 表示部、キー部、ゴム部を爪や尖った物で押さないでください。
- ご使用後は、はかりを乾燥した温度変化の少ない場所に保管してください。

## 2章 ご使用前の準備について

### 2-1. 組み立て時の注意事項

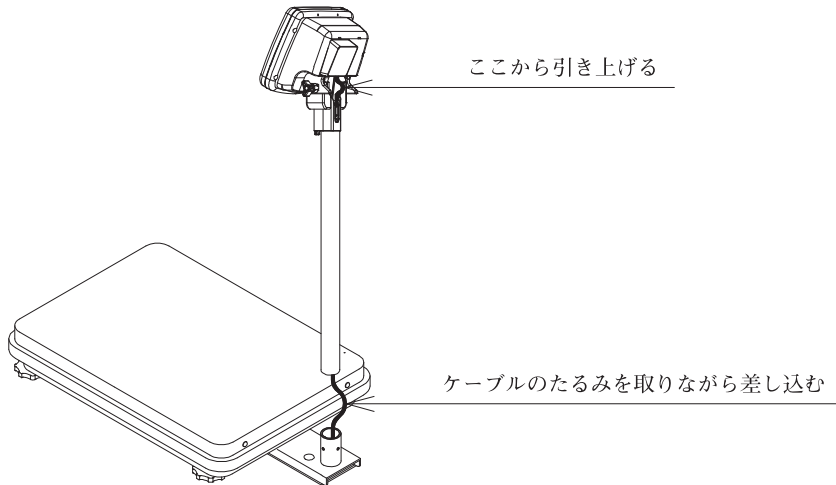
(支柱の取り付けかた)

1. 支柱を支柱取り付け台に差し込んでください。
2. 中央のネジを支柱の抜け止め穴に合わせて締め込んでください。
3. 両端のネジを締め込んで支柱を固定してください。



(組み立て時の注意事項)

支柱を支柱取付台に差し込むとき、支柱上部からケーブルを引き上げて支柱差し込み部分のケーブルのたるみを取り、ケーブルを傷つけないように注意しながら差し込んでください。



### 2-2. 設置場所について

はかりを使用するときは、必ず水平に設置してください。水平でないと、正しい計量できません。

また、がたつきがあっても正しい計量できません。

※注意) はかりは傾いた床に置かないでください。

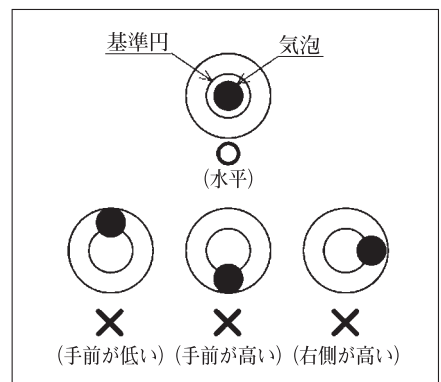
(水平調節できる範囲を超える場合)

はかりには、水平を調節するための水平調節脚があります。

なるべく平らな場所で水平器の気泡が基準円の中心に来よう水平調節脚を回して調節してください。

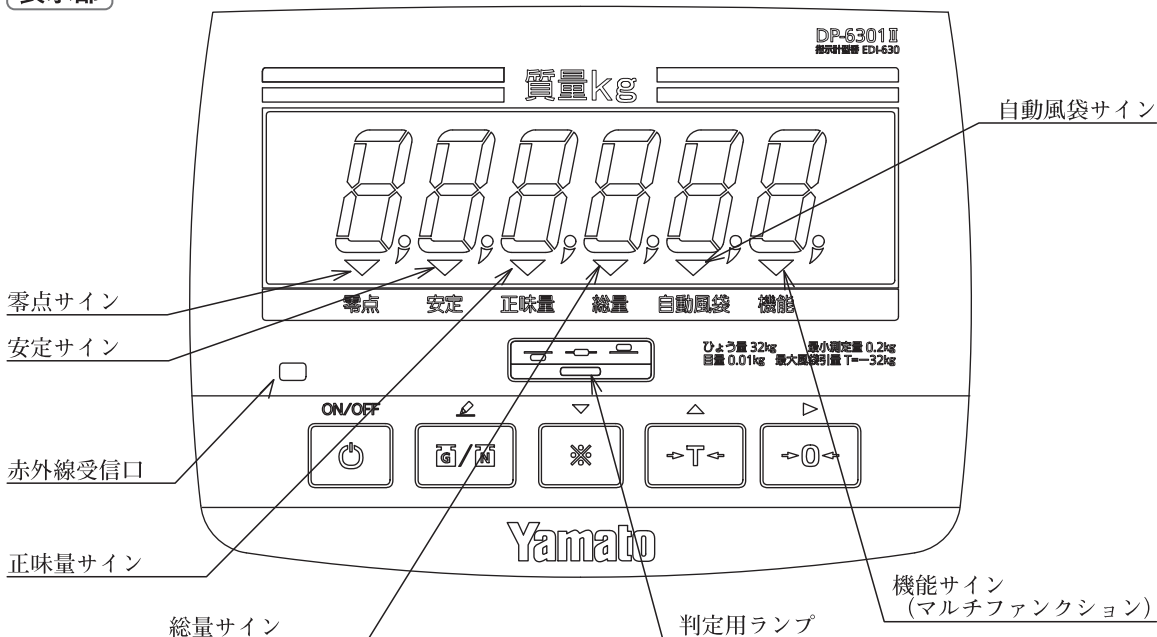
また、水平調節脚が浮かないように調整してください。

(右に回すとはかりは下がり、左に回すとはかりは上がります)








## 2-3. 表示部及びキー部について



### 表示部



### キー部


<p>ON/OFF</p> 	<p><b>電源ON/OFFキー</b> 電源をオンするとき、押すと電源がオンします。電源をオフするとき、表示が消えるまで押し続けます。 また、マルチファンクション機能を設定したいとき、押すと設定画面が表示されます。</p>
	<p><b>総量・正味量切替キー／設定キー</b> 風袋引き中、総量を確認したいとき、押すと総量・正味量が切り替わり表示されます。また、各種設定した数値を決定する際に使用します。</p>
	<p><b>※キー／デクリメントキー</b> マルチファンクション機能を使いたいとき、押し続けるとマルチファンクション計量が始まります。 手動でデータを送信したいとき、押すとデータが送信されます（主にオプション機能）。また、各種設定値入力の際のデクリメント操作（入力値ダウン）に使用します。</p>
	<p><b>風袋引きキー／インクリメントキー</b> 計量物を入れる容器の質量を0にしたいとき、押すと風袋引きします。また、各種設定値入力の際のインクリメント操作（入力値アップ）に使用します。</p>
	<p><b>零点リセットキー／桁送りキー</b> 計量前、零点がずれているとき、押すと零点をリセットします。また、各種設定値入力の際の桁送りに使用します。</p>

(多重押し)

 	<p><b>ユーザパラメータモード</b> 零点キーと風袋キーを同時に押すとユーザパラメータモードに入り、各種ユーザパラメータの設定を行うことができます。</p>
---	---




### 3章 基本操作について

#### 3-1. 電源プラグをコンセントに差し込みます

	操 作 説 明	表 示 内 容
①	電源プラグをコンセントに差し込むと、「♪ピッ」というブザー音とともに画面に一瞬「dp6301」と表示されます。	

#### 3-2. 計量のしかた



《例》 電源をオンして、25kgの計量物を計量する場合

	操 作 説 明	表 示 内 容
②	 を押してください。 全ての表示が点灯し、判定用ランプが白色に点灯した後に、0を表示します。	
③	はかりに計量物を載せてください。 質量 (25kg) を表示し、はかりが安定すると安定サインが点灯します。	

#### 3-3. 零点リセットのしかた

	操 作 説 明	表 示 内 容
④	 を押してください。 零点をリセットし、0を表示します。	 → 

#### 3-4. 電源オフのしかた


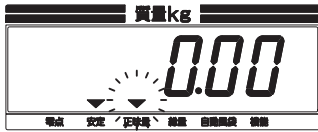

	操 作 説 明	表 示 内 容
⑤	 を押し続けてください。電源がオフします。	



## 4章 ワンタッチ風袋引きについて


### 4-1. ワンタッチ風袋引きのしかた

《例》 2kgの容器を風袋引き後、15kgの計量物を計量する場合

	操 作 説 明	表 示 内 容
①	容器（風袋物）をはかりに載せてください。 表示部には容器の質量（2kg）を表示します。	
②	安定サインが点灯したら <b>-T-</b> を押します。 正味量サインが点灯し、0を表示します。	
③	計量物を載せてください。 容器の質量を差し引いた計量物の正味量（15kg）が表示されます。	



### 4-2. 風袋引き中の総量の確認のしかた

風袋引き中は **☒/☒** を押すことで、表示を総量と正味量に切り替えることができます。

	操 作 説 明	表 示 内 容
④	正味量表示中に <b>☒/☒</b> を押します。 総量サインが点灯し、総量を表示します。	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>(正味量)</p>  </div> <div style="font-size: 2em;">⇔</div> <div style="text-align: center;"> <p>(総量)</p>  </div> </div>

### 4-3. ワンタッチ風袋引きの取り消しかた

《例》 2kgの容器を取り除き、風袋引きを取り消す場合

	操 作 説 明	表 示 内 容
⑤	はかりから容器を取り除いてください。 容器の質量（2kg）をマイナス表示します。	
⑥	<b>-T-</b> を押してください。 正味量サインが消灯し、0を表示します。	

## 5章 自動風袋引き機能について

### 5-1. 自動風袋引き機能について

自動風袋引き機能は、風袋キーを押さなくても風袋引きすることができる機能で、連続でのパック詰め作業を行う際に、従来よりも作業スピードを上げる効果が期待できます。尚、自動風袋引き機能では、零点の状態から最初に計量した値を風袋物とみなし、その質量値を自動で風袋引きします。

### 5-2. 自動風袋引き機能の設定のしかた

	操 作 説 明	表 示 内 容
①	あらかじめユーザパラメータ#37を「1」に設定し、 を押してください。 自動風袋引き機能を使用しない場合は、「0」にしてください。 ※ユーザパラメータの設定のしかたについては、P.12をご覧ください。	
②	次のユーザパラメータ#38が表示されたら電源をオフし、再び  を押してください。自動風袋サインが点灯し、自動風袋引き機能が有効となります。	

### 5-3. 自動風袋引き機能の使いかた

《例》 1.5kgの容器を風袋引き後、4.5kgの計量物を計量する場合

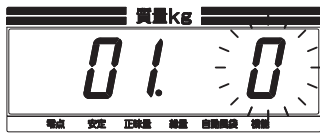
	操 作 説 明	表 示 内 容	
①	表示が0の状態ではかりに容器（風袋物）を載せてください。 自動で容器の質量（1.5kg）が風袋引きされ、正味量サインが点灯し、0を表示します。		
②	自動風袋引き後に載せた値は計量物とみなし、正味量を表示します。  自動風袋引き中も  を押すと、表示を総量・正味量に切り換えることができます。		
③	はかりから容器を含む全ての計量物を取り除くと、自動風袋引きは解除されます。 再び容器を載せると、その質量値が自動で風袋引きされます。		

## 6章 ユーザパラメータについて

### 6-1. ユーザパラメータについて

DP-6301 II では、お客さまが使用環境に応じてはかりを最適に使用できるように設定を変更することができます。下記のユーザパラメータ表をよくご覧になり、必要に応じて設定を変更してください。

### 6-2. ユーザパラメータの設定のしかた

	操 作 説 明	表 示 内 容
①	<p><b>-0-</b> と <b>-T-</b> を同時に押します。</p> <p>ユーザパラメータ#01と、その設定値が表示されます。</p>	 <p>The image shows a digital scale display with '質量kg' (Mass kg) at the top. The main display shows '01.' followed by a smaller '0'. Below the display, there are several small indicators: '零点' (Zero point), '安定' (Stable), '正味量' (Net weight), '繰越' (Carry over), '自動換算' (Auto conversion), and '単位' (Unit).</p>
②	<p>ユーザパラメータ設定時のキー操作は、以下の通りです。</p> <p><b>-0-</b>：次のパラメータへ進む。 <b>-T-</b>：設定値を「+1」する。 <b>*</b>：設定値を「-1」する。</p> <p>(便利な操作)</p> <p>① <b>-0-</b> を押しながら <b>*</b> を押すと、前のパラメータへ戻ります (#01のときに押すと、#39へ進みます)。</p> <p>② 設定値の点滅中に <b>西/西</b> を押すと、パラメータ番号が点滅し、<b>-T-</b> または <b>*</b> を押し続けることで、パラメータ番号を早送りすることができます。再び <b>西/西</b> を押すと、設定値を入力することができます。</p>	
③	<p>(重要)</p> <p>設定値を変更した場合は、必ず <b>-0-</b> を押して次のパラメータへ進んでから電源をオフしてください。</p> <p>次のパラメータへ進まないで、設定値の変更は更新されません。</p>	

### 6-3. ユーザパラメータ表

番号	項 目	設定値：機能説明 (下線__は出荷時設定)
#01	マルチファンクションタイプの選択	<u>0</u> ：マルチファンクションを使用しない 1：定量計量機能 2：チェッカ機能 3：ランク選別機能 4：計数機能 5：減算式チェッカ機能
#02	ランク数の設定 (ランク選別用パラメータ)	0：設定禁止 1～15：出荷時設定は6
#03	ブザーの選択 (マルチファンクション用パラメータ)	<u>0</u> ：ブザーを鳴らさない 1：軽量で鳴らす 2：適量で鳴らす 3：過量で鳴らす 4：軽量・過量で鳴らす

番号	項目	設定値：機能説明（下線__は出荷時設定）
#04	判別のタイミング (マルチファンクション用パラメータ)	0：非安定時でも判別表示 1： <u>安定時のみ判別</u>
#05	デイマータイマーの設定	0：デイマータイマーを使用しない 1～10：1分～10分、使用しなかった場合に省電力モードへ移行 11：15分間、使用しなかった場合に省電力モードへ移行 12：20分、使用しなかった場合に省電力モードへ移行 13：30分、使用しなかった場合に省電力モードへ移行 14：40分、使用しなかった場合に省電力モードへ移行 15：60分、使用しなかった場合に省電力モードへ移行
#06	ジャーナルプリンタの使用 (ジャーナルプリンタ用パラメータ)	0： <u>使用しない</u> 1：使用する
#07	表示値点減の選択 (マルチファンクション用パラメータ)	0： <u>表示値を点減させない</u> 1：軽量時に表示値点減 2：適量時に表示値点減 3：過量時に表示値点減 4：軽量時または過量時に表示値点減 5：#03（ブザーの選択）に同期させる
#08	ランク選別の種類 (ランク選別用パラメータ)	0：加算式ランク選別 1： <u>減算式ランク選別</u>
#09	使用地域補正	0：取引証明以外用のパラメータ
#10	はかりID(オプション用パラメータ)	0～99：出荷時設定は0
#11	通信(計量完了)のタイミング	0： <u>通信機能を使用しない</u> 1：安定後に自動通信 2：安定後の取り除き時に自動通信 3：安定後に <input type="checkbox"/> で手動通信 4：マルチファンクション機能・適量時に自動通信 5：マルチファンクション機能・適量時に <input type="checkbox"/> で手動通信 6：設定禁止
#13	通信タイプの選択 (オプション用パラメータ)	0：Bluetooth™無線通信 1：ZBee無線通信 2：RS232C入出力 3：USBメモリ 4：Bluetooth™無線プリンタBLM-80BT 5： <u>通信無し</u> 6：音声合成ユニット
#14	通信内容の選択 (オプション用パラメータ)	0： <u>ネット重量</u> 1：ネット重量、風袋重量、グロス重量 2：ネット重量、風袋重量
#15	通信速度 (オプション用パラメータ)	0： <u>9600bps</u> 1：2400bps 2：4800bps 3：9600bps 4：19200bps 5：38400bps 6：57600bps 7：115200bps
#16	キャラクタ長 (オプション用パラメータ)	0： <u>8ビット</u> 1：7ビット
#17	パリティ (オプション用パラメータ)	0： <u>なし</u> 1：奇数 2：偶数

番号	項目	設定値：機能説明（下線__は出荷時設定）
#18	ストップビット長 (オプション用パラメータ)	<u>0</u> ：1ビット 1：2ビット
#19	各ランクの合計数の印字 (無線プリンタ用パラメータ)	<u>0</u> ：印字しない 1：印字する
#20	ランク選別の設定目量の切り替え (ランク選別用パラメータ)	0：通常目量でランク選別 <u>1</u> ：詳細目量設定でランク選別
#21	マトリクス組合せ (マトリクス組合せ用パラメータ) ※通常は表示されません	<u>2</u> ：2個組合せ 3：3個組合せ 4：4個組合せ
#22	計量速度	<u>0</u> ：標準 1：速度重視 ※取引証明用は無効（0：標準）となります 2：精度重視
#23	データ送信時のSEnd表示	0："SEnd"表示しない 1～8：設定した秒の間、SEnd表示する（出荷時設定は1）
#25	LEDの輝度	0：点灯比 25% 1：点灯比 50% <u>2</u> ：点灯比 75% 3：点灯比100%
#26	日時データの送信 (オプション用パラメータ)	0：しない <u>1</u> ：する
#27	マルチファンクション設定値の送信 (オプション用パラメータ)	0：しない <u>1</u> ：する
#28	紙送り量の設定 (プリンタ用パラメータ)	<u>0</u> ：しない 1～15：設定した行を空送りする
#29	文字の選択 (オプション用パラメータ)	<u>0</u> ：漢字 1：アルファベット
#30	ゼロ送信 (オプション用パラメータ)	<u>0</u> ：しない 1：する
#31	ランク外の音声番号 (音声ユニット用パラメータ)	0：（出荷時設定は90） 1～255：
#32	表示管の輝度	0：暗い 1：やや暗い <u>2</u> ：標準 3：明るい
#33	電源コード差し込み時の自動電源オン	<u>0</u> ：しない 1：する
#34	リモコンの使用 (リモコン用パラメータ)	<u>0</u> ：使用しない 1：使用する
#35	大型表示器への出力 (オプション用パラメータ)	<u>0</u> ：出力しない 1：あり（ZBeeで正味量のみ200ms毎に送信） 2：あり（RS232CまたはBTで正味量のみ200ms毎に送信）
#36	減算式チェック適量値の表示時間 (減算式チェック用パラメータ)	0：すぐに次の計量へ移る 1～30：0.1秒～3.0秒遅延する（出荷時設定は10）
#37	自動風袋引き機能の使用 (自動風袋引き機能用パラメータ)	<u>0</u> ：使用しない 1：使用する
#39	自動風袋引き機能の動作目量 (自動風袋引き機能用パラメータ)	0：4目量以上で動作 1～20：1～20目量以上で動作（出荷時設定は4）

## 6-4. 各ユーザパラメータの説明

### 【#01】 マルチファンクションタイプの選択

DP-6301 II で搭載されている「定量計量機能」「チェッカ機能」「ランク選別機能」「計数機能」を選択します。

注) ランク選別機能を選択した場合、これまで入力していた設定値は全て消去されますので、ご注意ください。

### 【#02】 ランク数の設定 (ランク選別用パラメータ)

設定するランク数を決定します。この場合、ランク設定数を制限することで、登録品種数を増やすことができます。

ランク設定数と登録品種数の関係は下記の通りです。

ランク設定数	登録品種数
02	66品種
03	49品種
04	39品種
05	33品種
06	28品種

ランク設定数	登録品種数
07	24品種
08	22品種
09	19品種
10	18品種
11	16品種

ランク設定数	登録品種数
12	15品種
13	14品種
14	13品種
15	12品種

### 【#03】 ブザーの選択 (マルチファンクション用パラメータ)

定量計量機能使用時またはチェッカ機能使用時、ブザーで軽量、適量、過量の判定を行うことができます。

### 【#04】 判別のタイミング (マルチファンクション用パラメータ)

マルチファンクション機能使用時に、非安定時でも判定結果を表示することができます。

例えば、液体物を加算式でランク付けする場合、常にランクの変動を監視することができます。

### 【#05】 ディマータイマーの設定

使用しない時間が設定時間 (分) 続くと省電力モードとなり、輝度を最も暗い状態に自動変更することができます。

### 【#06】 ジャーナルプリンタの使用 (ジャーナルプリンタ用パラメータ)

オプションのジャーナルプリンタを使用するときに設定します。

### 【#07】 表示値点減の選択 (マルチファンクション用パラメータ)

定量計量機能、チェッカ機能、ランク選別機能使用時に、画面に表示された数値を点減させることができます。

例えば、適量時に点減させることで、判定結果がより明確になります。

### 【#08】 ランク選別の種類 (ランク選別用パラメータ)

ランク選別機能の「加算式」「減算式」を設定します。

### 【#09】 使用地域補正

取引証明以外用のはかりで使用地域を変更するときに設定します。詳しくはP.35をご覧ください。

#### 【#10】 はかりID (オプション用パラメータ)

オプションの通信機能を使用したとき、はかりに機器番号を設定することができます。  
複数台のはかりをパソコン上で管理する場合に使用します。

#### 【#11】 通信 (計量完了) のタイミング

計量を完了し、オプション接続時に、データを各オプションへ送信するタイミングを設定します。  
また、減算式チェック機能では計量完了のタイミングを1, 3, 4, 5の中より設定します。

#### 【#13】 通信タイプの選択 (オプション用パラメータ)

オプションの通信機能の種類を設定します。

#### 【#14】 通信内容の選択 (オプション用パラメータ)

オプション機能を使用したとき、通信するデータ (正味量、風袋量、総量) を選択することができます。

#### 【#15~18】 通信速度、キャラクタ長、パリティ、ストップビット長 (オプション用パラメータ)

主にオプションの通信機能を使用したときに設定するパラメータです。

#### 【#19】 各ランクの合計数の印字 (無線プリンタ用パラメータ)

オプションの無線プリンタを使用したとき、ランク選別機能で各ランクの合計 (総計) のみを印字することができます。

#### 【#20】 ランク選別の設定目量の切り替え (ランク選別用パラメータ)

ランク選別機能を使用したとき、通常の日量で設定するか通常より小さい詳細設定目量で設定するかを切り替えます。

注) 設定目量を変更した場合、変更前のデータは全て消去されますので、ご注意ください。

#### 【#21】 マトリクス組合せ (マトリクス組合せ用パラメータ)

マトリクス組合せを使用したとき、各ランクの組合せ数を選択します。

注) オプションでマトリクス組合せをご購入された場合のみ、表示されます。

#### 【#22】 計量速度

計量速度を上げたり、逆に安定しにくい品物を測る場合などは計量速度を下げて確実に計量できるようにしたりします。

注) 取引証明用の場合、計量速度を速くすることはできませんので、ご注意ください。

#### 【#23】 データ送信時のSEnd表示

データが送信されたことを示すため、送信後、画面に「SEnd」と表示させることができます。

#### 【#25】 LEDの輝度

LEDランプの明るさを選択します。

#### 【#26】 日時データの送信 (オプション用パラメータ)

オプション機能を使用したとき、計量結果と一緒に日付と時刻を送ることができます。

### 【#27】 マルチファンクション設定値の送信（オプション用パラメータ）

オプション機能を使用したとき、計量結果と一緒にマルチファンクション設定値を送ることができます。

### 【#28】 紙送り量の設定（プリンタ用パラメータ）

オプションのジャーナルプリンタと無線プリンタを使用したとき、印字したあとの紙送り行数を設定します。

### 【#29】 文字の選択（オプション用パラメータ）

オプション機能を使用したとき、文字を英記に変えることができます。

### 【#30】 ゼロ送信（オプション用パラメータ）

オプションの通信機能を使用したとき、質量0.00kgのデータを送ることができます。

### 【#31】 ランク外の音声番号（音声ユニット用パラメータ）

オプションの音声ユニットを使用したとき、ランク外のときに発声する言葉を選択します。

### 【#32】 表示管の輝度

蛍光表示管の明るさを選択します。

### 【#33】 電源コード差し込み時の自動電源オン

電源コードのプラグをコンセントに差し込んだ時点で、自動的に電源をオンすることができます。

### 【#34】 リモコンの使用（リモコン用パラメータ）

オプションのリモコンを使用するときに設定します。

### 【#35】 大型表示器への出力（オプション用パラメータ）

オプションの通信機能を使用したとき、200ms毎に正味量を送信することができます。

### 【#36】 減算式チェッカ適量値の表示時間（減算式チェッカ用パラメータ）

減算式チェッカを使用したとき、次の計量に移るまでの時間（秒）を設定することができます。

### 【#37】 自動風袋引き機能の使用（自動風袋引き機能用パラメータ）

自動風袋引き機能を使用するときに設定します。

### 【#39】 自動風袋引き機能の動作目量（自動風袋引き機能用パラメータ）

自動風袋引き機能が動作する目量数を設定します。

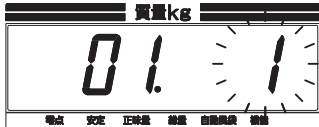



## 7章 マルチファンクション機能について

### 7-1. マルチファンクション機能について

マルチファンクション機能とは、よりスピーディーに且つ正確な計量作業をサポートするためのYamato独自の機能です。DP-6301Ⅱでは、定量計量、チェッカ計量、ランク選別計量、計数計量、減算式チェッカ計量の5つを搭載しています。それぞれの特徴を理解し、有効に活用してください。

### 7-2. マルチファンクション機能の選択のしかた

	操 作 説 明	表 示 内 容
①	<p><b>-0-</b> と <b>-T-</b> を同時に押してユーザパラメータに入り、ユーザパラメータ#01を使用する機能に設定してください。 ※ユーザパラメータの設定のしかたについては、P.12をご覧ください。</p>	
②	<p>マルチファンクションの種類を選択して設定してください。</p> <p><b>-T-</b> : 設定値を「+1」する</p> <p><b>*</b> : 設定値を「-1」する</p> <p>選択後、<b>-0-</b> を押して次のパラメータへ進んでください。</p>	<p>0：使用しない 1：定量計量機能 2：チェッカ機能 3：ランク選別機能 4：計数機能 5：減算式チェッカ機能</p>
③	<p>(ランク選別計量を選択した場合)</p> <p><b>-0-</b> を押して#08まで進み、ランク選別の種類を選択してください。</p> <p>選択後は同じく <b>-0-</b> で次のパラメータへ進んでください。</p>	<p>0：加算式ランク選別 1：減算式ランク選別</p>
④	<p>すべての設定が完了したら電源をオフしてください。 新しいマルチファンクション機能に更新されます。</p>	

## 8章 マルチファンクション機能の使いかた

### 8-1. 定量計量機能の使いかた

(注意) 定量計量機能は、取引証明用にはお使いいただけません。

#### 定量計量機能について

用途	定量詰め作業
計量方式	ターゲット値をマイナス表示し、適量になると表示は0kgを表示します。
メリット	ターゲット値まであといくら足りないか一目瞭然となり、だれでも簡単に作業できます。
設定値	①ターゲット値 ②ターゲット値の許容範囲
最大品種登録数	99品種

●定量計量では、ターゲット値とその許容範囲の2点の設定を行います。

軽量		適量	過量	
赤色点減	赤色点灯	青色点灯	黄色点灯	黄色点減



上図のように設定した場合、各判定の範囲は次のようになります。



軽量及び過量の点灯範囲は、適量範囲の設定幅（上記の場合は1kg）と同じ幅になります。

軽量 (点減)	=4日量～8.99kg
軽量 (点灯)	=9.00kg～9.99kg
適量 (点灯)	=10kg～10.99kg
過量 (点灯)	=11kg～11.99kg
過量 (点減)	=12kg～ひょう量

※上記は、ひょう量30kg/日量10gの場合です。









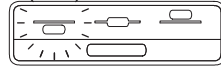

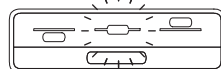

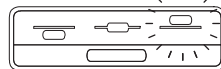



設定のしかた

《例》 品種番号3を選択し、適量範囲を10kg以上11kg未満に設定する場合

	操 作 説 明	表 示 内 容
①	品種データの登録前に、あらかじめユーザパラメータ設定画面にてパラメータ#01を「01」に設定しておいてください。	
②	電源をオンした後に <input type="button" value="O"/> を押してください。 定量計量を示す「PAC」が表示され、下二桁に品種番号が表示されます。 ※品種番号表示中に <input type="button" value="-O-"/> を押すと、通常の計量画面に戻ります。	
③	品種番号を「03」に設定してください。 <input type="button" value="-T-"/> : 品種番号を「+1」する <input type="button" value="※"/> : 品種番号を「-1」する 品種番号設定後、 <input type="button" value="西/西"/> を押してください。	
④	ターゲット質量値を「10.00」に設定してください。 <input type="button" value="-O-"/> : ターゲット質量値の桁を右へ移動する <input type="button" value="-T-"/> : ターゲット質量値を「+1」する <input type="button" value="※"/> : ターゲット質量値を「-1」する ターゲット質量値設定後、 <input type="button" value="西/西"/> を押してください。	
⑤	ターゲット値の許容範囲を「0.99」に設定してください。 <input type="button" value="※"/> : ターゲット値の許容範囲の桁を右へ移動する <input type="button" value="-T-"/> : ターゲット値の許容範囲を「+1」する <input type="button" value="※"/> : ターゲット値の許容範囲を「-1」する ターゲット値の許容範囲設定後、 <input type="button" value="西/西"/> を押してください。	
⑥	品種番号3に設定したデータが登録され、設定完了です。 定量計量機能を使った作業を行うことができます。	

計量のしかた

《例》 適量範囲を10kg以上11kg未満として作業をおこなう場合

	操 作 説 明	表 示 内 容
①	<p>通常計量の零点表示中に  を押し続けると、機能サインが点灯し、前回の品種データが呼び出され、定量計量機能による作業を開始することができます。</p> <p>前回とは違う品種で作業を行う場合は、  を押して品種番号設定画面を呼び出し、  と  で作業を行う品種番号を設定して、再び  を押ししてください。新たに設定した品種にて作業を開始することができます。</p>	 ↓ 
②	<p>はかりに品物を載せていきます。</p> <p>10kgに満たない場合、軽量を示す赤色ランプが点灯（点滅）します。</p> <p>例) 9.5kgを載せた場合、「-0.50」と表示します。</p>	 
③	<p>10kgになると、表示が「0.00」となり、適量を示す青色ランプが点灯します。</p>	 
④	<p>許容範囲の10.99kgを超えた場合、過量を示す黄色ランプが点灯します。</p> <p>例) 11.2kgを載せた場合、「1.20」と表示します。</p>	 
⑤	<p>(質量表示に戻す場合)</p> <p>はかりからすべての品物を降ろし、零点サイン点灯後、  を押し続けてください。</p> <p>※零点サインが点灯していない状態では、表示の切り換えはできません。</p>	 ↓ 

## 8-2. チェッカ機能の使いかた

### チェッカ機能について

用途	チェック作業
計量方式	適量範囲の上限値と下限値を設定し、はかりに載せた品物が適量か否かを判別します。
メリット	品物が適量かどうか一目でわかり、取引証明用としても使用できます。
設定値	①適量範囲の下限値 ②適量範囲の上限値
最大品種登録数	99品種

●チェッカ計量では、適量範囲の下限値と上限値の2点の設定を行います。

軽量		適量	過量	
赤色点滅	赤色点灯	青色点灯	黄色点灯	黄色点滅



上図のように設定した場合、各判定の範囲は次のようになります。

軽量及び過量の点灯範囲は、適量範囲の設定幅（上記の場合は1kg）と同じ幅になります。

軽量（点滅）	=20目量～8.99kg
軽量（点灯）	=9.00kg～9.99kg
適量（点灯）	=10kg～10.99kg
過量（点灯）	=11kg～11.99 kg
過量（点滅）	=12kg～ひょう量

※上記は、ひょう量30kg/目量10gの場合です。









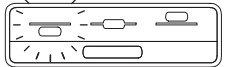

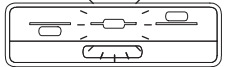

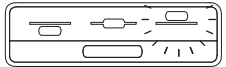



設定のしかた

《例》 品種番号2 を選択し、適量範囲を10kg以上11kg未満に設定する場合

	操 作 説 明	表 示 内 容
①	品種データの登録前に、あらかじめユーザパラメータ設定画面にてパラメータ#01を「02」に設定しておいてください。	
②	電源をオンした後に  を押してください。 チェッカ計量を示す「CHK」が表示され、下二桁に品種番号が表示されます。 ※品種番号表示中に  を押すと、通常の計量画面に戻ります。	
③	品種番号を「02」に設定してください。  : 品種番号を「+1」する  : 品種番号を「-1」する 品種番号設定後、  を押してください。	
④	適量範囲の下限值を「10.00」に設定してください。  : 下限値の桁を右へ移動する  : 下限値を「+1」する  : 下限値を「-1」する 適量範囲の下限值設定後、  を押してください。	
⑤	適量範囲の上限値を「10.99」に設定してください。  : 上限値の桁を右へ移動する  : 上限値を「+1」する  : 上限値を「-1」する 適量範囲の上限値設定後、  を押してください。	
⑥	品種番号2に設定したデータが登録され、設定完了です。 チェッカ計量機能を使った作業を行うことができます。	

計量のしかた

《例》 適量範囲を10kg以上11kg未満として作業をおこなう場合

	操 作 説 明	表 示 内 容
①	<p>通常計量の零点表示中に  を押し続けると、機能サインが点灯し、前回の品種データが呼び出され、チェッカ計量機能による作業を開始することができます。</p> <p>前回とは違う品種で作業を行う場合は、  を押して品種番号設定画面を呼び出し、  と  で作業を行う品種番号を設定して、再び  を押ししてください。新たに設定した品種にて作業を開始することができます。</p>	 ↓ 
②	<p>はかりに品物を載せていきます。</p> <p>10kgに満たない場合、軽量を示す赤色ランプが点灯（点滅）します。</p>	 ↓ 
③	<p>10kgになると、適量を示す青色ランプが点灯します。</p>	 ↓ 
④	<p>適量範囲の上限値11kgを超えた場合、過量を示す黄色ランプが点灯します。</p>	 ↓ 
⑤	<p>(質量表示に戻す場合)</p> <p>はかりからすべての品物を降ろし、零点サイン点灯後、  を押し続けてください。</p> <p>※零点サインが点灯していない状態では、表示の切り換えはできません。</p>	 ↓ 

### 8-3. ランク選別機能の使いかた

(注意) ランク選別機能は、取引証明用にはお使いいただけません。

#### ランク選別機能について

用途	ランク選別作業
計量方式	あらかじめ、各ランクに相当する質量範囲をはかりに記憶させ、記憶した値に基づいてランクを表示します。
メリット	品物のランクが一目瞭然となり、作業ミスを予防します。
設定値	①～⑥は各ランクの下限值、⑦は最終ランクの上限值
最大品種登録数	最大66品種（1品種当たり2ランク）～最少12品種（1品種当たり15ランク）

●ランク選別計量では、各ランクの下限值と最終ランクの上限值を設定します。

ランク数は、ユーザパラメータ#02で設定します。

ランク外	ランク01	ランク02	ランク03	ランク04	ランク05	ランク06	ランク外
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
	100	200	300	400	500	600	6.99

上図のように設定した場合、各ランクの範囲は次のようになります。

<p>ランク01=1kg～1.99kg          ランク02=2kg～2.99kg          ランク03=3kg～3.99kg          ランク04=4kg～4.99kg          ランク05=5kg～5.99kg          ランク06=6kg～6.99kg          ランク外=4目量～0.99kg及び7kg～ひょう量</p>
--

また、ランク計量では、ランクに合わせてLEDが点灯します。

<p>ランク1=緑色（ランク8、15も同色）          ランク2=赤色（ランク9も同色）          ランク3=黄色（ランク10も同色）          ランク4=青色（ランク11も同色）          ランク5=紫色（ランク12も同色）          ランク6=水色（ランク13も同色）          ランク7=白色（ランク14も同色）          ランク外=ランプ点灯なし</p>
---

























**設定のしかた**

《例》 品種番号5を選択し、ランク1を0.1kg以上0.2kg未満、ランク2を0.2kg以上0.3kg未満に設定する場合

ランク選別計量時は通常の目量よりも細かい目量で設定することができます（P.43「ひょう量系列」ご参照）。

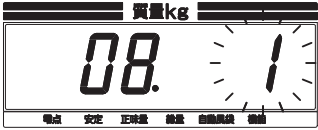
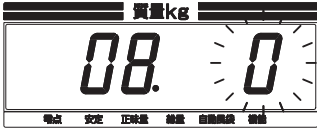
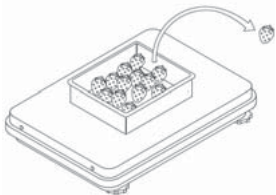
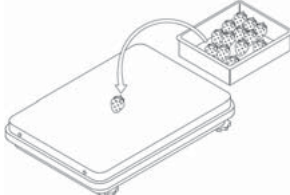
ただし、最小設定値は4目量となりますので、ランク1は4目量以上の値を設定してください。通常の目量で設定したい場合は、ユーザパラメータ#20を0に設定してください。

	操 作 説 明	表 示 内 容
①	品種データの登録前に、あらかじめユーザパラメータ設定画面にてパラメータ#01を「3」に設定しておいてください。	
②	電源をオンした後に  を押してください。 ランク選別計量を示す「rnk」が表示され、下二桁に品種番号が表示されます。 ※品種番号表示中に  を押すと、通常の計量画面に戻ります。	
③	品種番号を「05」に設定してください。  : 品種番号を「+1」する  : 品種番号を「-1」する 品種番号設定後、  を押してください。	
④	ランク番号「01」が表示されます。  を押して、ランク1の設定画面に移ってください。	
⑤	ランク1の下限值を「0.100」に設定してください。  : 下限値の桁を右へ移動する  : 下限値を「+1」する  : 下限値を「-1」する ランク1の下限值設定後、  を押してください。  注) ランク1は4目量以上の値を設定してください。 2つ以上のランクを設定しないと、品物のランクは表示されません。	
⑥	ランク番号「02」が表示されます。  を押して、ランク2の設定画面に移ってください。	












<p>⑦</p>	<p>ランク2の下限値を「0.200」に設定してください。</p> <p><b>-0-</b> : 下限値の桁を右へ移動する</p> <p><b>-T-</b> : 下限値を「+1」する</p> <p><b>*</b> : 下限値を「-1」する</p> <p>ランク2の下限値設定後、<b>西/西</b>を押してください。</p> <p>※ <b>-0-</b> を押しながら <b>西/西</b> を押すと、ひとつ前のランクの設定に戻ります。</p>	
<p>⑧</p>	<p>ランクの設定が残っている状態で設定が完了した場合、品種番号表示中に <b>0</b> を押してください。それまで設定したデータが登録され、ランク選別機能を使った作業を行うことができます。</p> <p>※最終ランク (End) まで設定せずに設定を完了した場合、最後に設定したランクは存在しません。例えば、ランク1を0.1kg、ランク2を0.2kgとして設定を完了した場合、ランク2は存在せず、ランク1の範囲が0.1kg以上0.2kg未満となり、0.2kg以上はランク外となります。</p>	 <p style="text-align: center;">↓</p> 
<p>⑧</p>	<p>「End」は最終ランクの設定を意味します。最終ランクは過量ランク外の下限値を設定します。</p> <p><b>西/西</b> を押して、過量ランク外の下限値設定画面に移ってください。</p>	
<p>⑨</p>	<p>過量ランク外の下限値を「0.300」に設定してください。</p> <p><b>-0-</b> : 下限値の桁を右へ移動する</p> <p><b>-T-</b> : 下限値を「+1」する</p> <p><b>*</b> : 下限値を「-1」する</p> <p>過量ランク外の下限値設定後、<b>西/西</b> を押してください。</p>	
<p>⑩</p>	<p>品種番号5に設定したデータが登録され、設定完了です。ランク選別機能を使った作業を行うことができます。</p>	<p style="text-align: center;">品種番号      ランク</p> <p style="text-align: center;">↓                      ↓</p> 




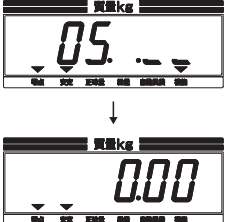
## 計量のしかた

ランク選別計量には、2種類の計量方法があります。用途に合わせてご使用ください。

種 類	減算式ランク選別	加算式ランク選別
ユーザパラメータ#08		
計量方法	はかりにすべての品物を載せ、その中から取り除いた品物の質量に応じてランク選別します。 	はかりに個別に品物を載せ、載せた品物の質量に応じてランク選別をします。 

《例》 ランク1を0.1kg以上0.2kg未満、ランク2を0.2kg以上0.3kg未満として作業をおこなう場合

	操 作 説 明	表 示 内 容
①	通常計量の零点表示中に  を押し続けると、機能サインが点灯し、前回の品種データが呼び出され、ランク選別機能による作業を開始することができます。  前回とは違う品種で作業を行う場合は、  を押して品種番号設定画面を呼び出し、  と  で作業を行う品種番号を設定して、再び  を押ししてください。新たに設定した品種にて作業を開始することができます。	 ↓ 
②	(減算式ランク選別の場合) まず、はかりにすべての品物を載せます。その後、品物をひとつずつ取り除いてください。 品物の質量値をランク番号で表示します。  例) 質量が0.25kgの品物を取り除いた場合、「02」と表示します。	 
	(加算式ランク選別の場合) 品物をひとつずつ載せてください。品物の質量値をランク番号で表示します。  例) 質量が0.17kgの品物を載せた場合、「01」と表示します。	 

③	品物の質量が設定ランクよりも軽い場合（この場合は0.1kg未満）、アンダーバーが表示され、ランク表示されません。	
④	品物の質量が設定ランクよりも重い場合（この場合は0.3kg以上）、オーバーバーが表示され、ランク表示されません。	
⑤	<p><b>（質量表示に戻す場合）</b></p> <p>はかりからすべての品物を降ろし、零点サイン点灯後、 を押し続けてください。</p> <p>※零点サインが点灯していない状態では、表示の切り換えはできません。</p>	

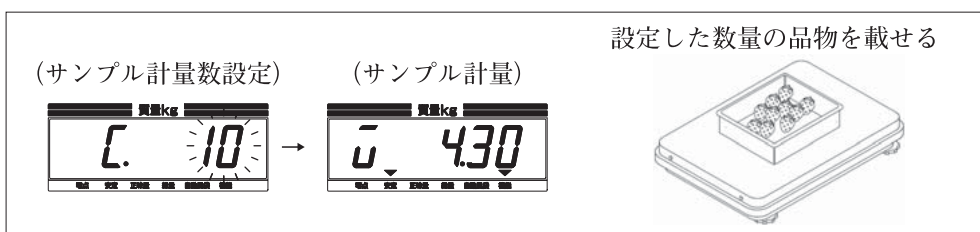
## 8-4. 計数機能の使いかた

(注意) 計数機能は、取引証明用にはお使いいただけません。

### 計数機能について

用途	計数作業
計量方式	あらかじめ数量の決まった品物から1個当たりの質量(単重)を測定し、以降、品物全体の質量値から個数を計算します。
メリット	品物の個数が一目でわかります。
設定値	サンプル計量数
最大品種登録数	99品種

●計数計量では、サンプル計量数の設定を行い、その後、サンプル計量を行います。



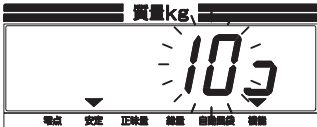


(注意) サンプル計量値が4目量未満の場合、単重は計算されません。また、単重が4目量未満の場合、計量誤差を発生する危険性がありますので、計数機能は4目量以上の品物に対してお使いいただくことをお薦めします。






### 設定のしかた

《例》 品種番号8を選択し、サンプル計量数を10に設定する場合

	操 作 説 明	表 示 内 容
①	品種データの登録前に、あらかじめユーザパラメータ設定画面にてパラメータ#01を「4」に設定しておいてください。	
②	電源をオンした後に  を押してください。 計数計量を示す「PCS」が表示され、下二桁に品種番号が表示されます。 ※品種番号表示中に  を押すと、通常の計量画面に戻ります。	
③	品種番号を「08」に設定してください。 : 品種番号を「+1」する : 品種番号を「-1」する 品種番号設定後、 を押してください。	

<p>④</p>	<p>サンプル計量数を「10」に設定してください。</p> <p><b>-0-</b> : サンプル計量数の桁を右へ移動する</p> <p><b>-T-</b> : サンプル計量数を「+1」する</p> <p><b>*</b> : サンプル計量数を「-1」する</p> <p>サンプル計量数設定後、<b>西/西</b> を押してください。</p>	
<p>⑤</p>	<p>はかりに10個の品物を載せてください。 サンプル計量を行います。</p>	
<p>⑥</p>	<p><b>西/西</b> を押してください。</p> <p>載せた品物の質量とサンプル数により単重が計算され、設定完了です。 計数機能を使った作業を行うことができます。</p>	

**計量のしかた**

	操 作 説 明	表 示 内 容
<p>①</p>	<p>通常計量の零点表示中に <b>西/西</b> を押し続けると、機能サインが点灯し、前回の品種データが呼び出され、計数計量機能による作業を開始することができます。</p> <p>前回とは違う品種で作業を行う場合は、<b>0</b> を押して品種番号設定画面を呼び出し、<b>-T-</b> と <b>*</b> で作業を行う品種番号を設定して、再び <b>0</b> を押してください。新たに設定した品種にて作業を開始することができます。</p>	 <p style="text-align: center;">↓</p> 
<p>②</p>	<p>はかりに品物を載せると、品物の個数を表示します。</p>	
<p>③</p>	<p><b>(質量表示に戻す場合)</b></p> <p>はかりからすべての品物を降ろし、零点サイン点灯後、<b>西/西</b> を押し続けてください。</p> <p>※零点サインが点灯していない状態では、表示の切り換えはできません。</p>	 <p style="text-align: center;">↓</p> 

## 8-5. 減算式チェッカ機能の使いかた

(注意) 減算式チェッカ機能は、取引証明用にはお使いいただけません。

### 減算式チェッカ機能について

用途	取り除き式のチェック作業
計量方式	適量範囲の上限値と下限値を設定し、取り除いた品物が適量か否かを判別します。
メリット	取り除いた品物に対して判定を行い、そのまま次の計量に移れるので、品物を載せる動作が省けるため、通常のチェッカ計量よりも作業効率が改善されます。
設定値	①適量範囲の下限値、②適量範囲の上限値
最大品種登録数	99品種

●減算式チェッカ計量では、適量範囲の下限値と上限値の2点の設定を行います。

軽量		適量	過量	
赤色点滅	赤色点灯	青色点灯	黄色点灯	黄色点滅



上図のように設定した場合、各判定の範囲は次のようになります。

軽量及び過量の点灯範囲は、適量範囲の設定幅（上記の場合は0.3kg）と同じ幅になります。

軽量（点滅）	=4目量～0.39kg
軽量（点灯）	=0.4kg～0.69kg
適量（点灯）	=0.7kg～0.99kg
過量（点灯）	=1kg～1.29kg
過量（点滅）	=1.3kg～ひょう量

※上記は、ひょう量30kg/目量10gの場合です。

設定のしかた











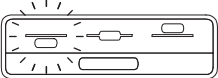

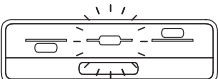

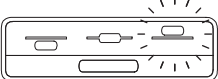


《例》 品種番号6を選択し、適量範囲を0.7kg以上1kg未満に設定する場合




	操作説明	表示内容
①	<p>品種データの登録前に、あらかじめユーザパラメータ設定画面にてパラメータ#01を「05」に設定しておいてください。</p> <p>また、ユーザパラメータ#11で計量完了のタイミングを選択してください。 このパラメータでは、次の計量へ移るタイミングを選択します。 例えば、設定値4の「適量時に自動通信」を選択した場合、取り除き量が適量になった時点で計量は完了となり、表示は再び0に戻り、次の計量が始まります。 (注意) 設定値0,2,6は選択しないでください。</p>	 <p>●ユーザパラメータ#11 1：安定後に自動通信 3：安定後に <input type="checkbox"/> で手動通信 4：適量時に自動通信 5：適量時に <input type="checkbox"/> で手動通信</p>
②	<p>電源をオンした後に <input type="button" value="O"/> を押してください。</p> <p>「CHK」が表示され、下二桁に品種番号が表示されます。 ※品種番号表示中に <input type="button" value="-0-"/> を押すと、通常の計量画面に戻ります。</p>	
③	<p>品種番号を「06」に設定してください。</p> <p><input type="button" value="-T-"/> : 品種番号を「+1」する <input type="button" value="※"/> : 品種番号を「-1」する</p> <p>品種番号設定後、<input type="button" value="西/西"/> を押してください。</p>	
④	<p>適量範囲の下限値を「0.70」に設定してください。</p> <p><input type="button" value="-0-"/> : 下限値の桁を右へ移動する <input type="button" value="-T-"/> : 下限値を「+1」する <input type="button" value="※"/> : 下限値を「-1」する</p> <p>適量範囲の下限値設定後、<input type="button" value="西/西"/> を押してください。</p>	
⑤	<p>適量範囲の上限値を「0.99」に設定してください。</p> <p><input type="button" value="※"/> : 上限値の桁を右へ移動する <input type="button" value="-T-"/> : 上限値を「+1」する <input type="button" value="※"/> : 上限値を「-1」する</p> <p>適量範囲の上限値設定後、<input type="button" value="西/西"/> を押してください。</p>	
⑥	<p>品種番号2に設定したデータが登録され、設定完了です。 減算式チェッカ計量機能を使った作業を行うことができます。</p>	



計量のしかた

《例》 適量範囲を0.7kg以上1kg未満として作業をおこなう場合

	操 作 説 明	表 示 内 容
①	<p>通常計量の零点表示中に  を押し続けると、機能サインが点灯し、前回の品種データが呼び出され、減算式チェッカ計量機能による作業を開始することができます。</p> <p>前回とは違う品種で作業を行う場合は、  を押して品種番号設定画面を呼び出し、  と  で作業を行う品種番号を設定して、再び  を押ししてください。新たに設定した品種にて作業を開始することができます。</p>	 ↓ 
②	<p>はかりにすべての品物を載せてください。自動的に風袋引きされ、零点を表示します。</p> <p>※減算式チェッカ機能では、載せた品物はすべて自動的に風袋引きされます。</p>	 ↓ 
③	<p>はかりから品物を取り除きます。取り除き量が0.7kgに満たない場合、軽量を示す赤色ランプが点灯（点減）します。</p>	 
④	<p>取り除き量が0.7kgを超えると、適量を示す青色ランプが点灯します。</p>	 
⑤	<p>取り除き量が1kgを超えた場合、過量を示す黄色ランプが点灯します。</p>	 
⑥	<p>ユーザパラメータ#11で設定したタイミングで計量は完了となり、表示は再び0に戻り、次の計量が開始となります。</p> <p>※計量完了から次の計量開始までの時間は、ユーザパラメータ#36で設定することができます（出荷時設定は10＝計量完了1秒後に0表示となります）。</p>	 ↓ 

⑦	<p>(質量表示に戻す場合)</p> <p>はかりからすべての品物を降ろし、零点サイン点灯後、 を押し続けてください。</p> <p>※零点サインが点灯していない状態では、表示の切り換えはできません。</p>	 ↓ 
---	---	---

## 9章 取引証明以外用について

### 9-1. 取引証明以外用について

取引証明以外用のDP-6301 II をご使用になる場合、初めに使用地域別に重力加速度を補正する必要があります。補正を行わなかった場合、正しい計量ができない場合がありますので、必ず下記の「使用地域別の重力加速度補正について」をよくお読みいただき、重力加速度補正を行ってから計量を始めてください。

### 9-2. 取引証明以外用のユーザパラメータについて

取引証明以外用のDP-6301 II には、使用地区補正およびお客さまによる分銅校正が可能です。ユーザパラメータ表をよくご覧になり、設定してご使用ください。

番号	名 称	設定値：機能説明
#09	地区補正／重力加速度	0：地区補正／重力補正しない 1～29：設定禁止 30～210：(重力加速度(m/s) <sup>2</sup> - 9.7600) × 10000 ÷ 5 + オフセット分(30) 設定範囲：9.7600～9.8500m/s <sup>2</sup> 最小設定単位：0.0005m/s <sup>2</sup>

#### 【番号#09】地区補正／重力加速度

取引証明以外用のDP-6301 II には、使用地区補正機能が搭載されています。パラメータ番号#09の地区補正／重力加速度をご使用地域に応じた設定値に変更してください。

### 9-3. 使用地域別の重力加速度補正について

使用地域別に重力加速度を補正する場合は、以下の方法で補正をおこなってください。使用地域別の重力加速度については使用地域別の設定値を参照してください。

- ※1 次回使用するときからは使用地域別の重力加速度補正は必要ありませんので、電源を入れてそのままご使用ください。
- ※2 一度重力加速度補正を行ったはかりを設定値が異なる地域で使用する場合、再度使用地域に対応した重力加速度の補正が必要になります。




## 使用地域別の設定値

地域名	都道府県	重力加速度の範囲 (m/s <sup>2</sup> )	設定値
道北・道東地方 (十勝地方を除く)	道北地方 (宗谷・上川・留萌) 道東地方 (網走・根室・釧路)	9.804～9.807	121
道央・道南・十勝地方	道央 (石狩・後志・空知) 道南 (檜山・胆振・日高・渡島) 十勝地方	9.803～9.806	119
東北地方	青森県、岩手県	9.801～9.804	115
	宮城県、秋田県	9.800～9.803	113
	山形県、宮城県	9.799～9.802	111
	福島県	9.798～9.801	109
関東甲信越地方	新潟県、茨城県	9.798～9.801	109
	栃木県	9.797～9.800	107
	千葉県、神奈川県、山梨県、群馬県、 埼玉県、東京都 (八丈支庁・小笠原 支庁を除く)	9.796～9.799	105
	長野県	9.795～9.798	103
	東京都 (八丈支庁・小笠原支庁に限る)	9.794～9.796	100
北陸地方	福井県、富山県、石川県	9.797～9.800	107
東海・近畿・中国地方	静岡県、岐阜県、愛知県、三重県 (東海4県) 大阪府、和歌山県、奈良県、滋賀県、 京都府、兵庫県 (近畿2府4県) 山口県、岡山県、鳥取県、広島県、 島根県 (中国5県)	9.796～9.799	105
四国地方	香川県、愛媛県、徳島県、高知県	9.795～9.797	102
九州地方	長崎県、福岡県、佐賀県、熊本県、 宮崎県、大分県、鹿児島県 (薩摩・ 大隅地方に限る)	9.794～9.797	101
	鹿児島県 (薩摩・大隅地方を除く)	9.791～9.794	95
沖縄地方	沖縄県	9.789～9.792	91

上記の内容についてご不明な点がございましたら、弊社にお問い合わせください。尚、国土  
地理院のホームページに、地域別の重力加速度について説明がありますのでご参照ください。  
(<http://www.gsi.go.jp>)

### 使用地域別の補正例

《例》 福井県ではかりを使用する場合（設定値を「105」から「107」に変更）





	操 作 説 明	表 示 内 容
①	<b>-0-</b> と <b>-T-</b> を同時に押してユーザパラメータに入り、 <b>-0-</b> を押してパラメータ番号を#09にしてください。	
②	<b>-T-</b> を押して設定値を「107」に変更し、 <b>-0-</b> を押してください。 次のパラメータ番号#10が表示されます。	
③	<b>0</b> を押し続けて電源をオフしてください。 以上で使用地域の設定値変更が完了です。	



### 9-4. 分銅校正方法について

取引証明以外用のDP-6301Ⅱは、お客さまによる分銅校正（使用前の校正）が可能です。分銅校正を行わなかった場合、正しい計量ができない場合がありますので、定期的に分銅校正を行うことをおすすめします。また、分銅校正を行う場合、「2級基準分銅」以上の精度の分銅をご用意の上、下記の手順にしたがって分銅校正を行ってください。

《例》 ひょう量60kgのはかりを使用する場合の分銅校正方法について

※分銅校正を行う前は、必ずはかりにひょう量分の予備負荷を載せてください。

	操 作 説 明	表 示 内 容
①	<b>-0-</b> と <b>-T-</b> を同時に押してユーザパラメータに入ってください。	
②	パラメータ#01表示中に <b>-0-</b> と <b>0</b> を同時に押してください。 分銅校正画面が表示されますので、 <b>-T-</b> を押して校正を開始してください。	
③	1000目量に相当する10kgの分銅を載せ、 <b>-T-</b> を押してください。 ※ひょう量32kgは5kgの分銅を、ひょう量120kgは20kgの分銅をそれぞれ載せてください。	
④	3000目量に相当する30kgの分銅を載せ、 <b>-T-</b> を押してください。 ※ひょう量32kgは15kgの分銅を、ひょう量120kgは60kgの分銅をそれぞれ載せてください。	

	操 作 説 明	表 示 内 容
⑤	6000目量に相当する60kgの分銅を載せ、 <b>-T-</b> を押ししてください。 ※ひょう量32kgは30kgの分銅を、ひょう量120kgは120kgの分銅をそれぞれ載せてください。	
⑥	以上で分銅校正は完了です。完了後、質量表示に戻りますので、再度、分銅を載せ、分銅の質量と表示が合っているかを確認してください。	

※途中で校正を中止する場合は、はかりからすべての分銅を降ろし、**-0-** を押ししてください。全ての表示が点灯し、0が表示されますが、途中まで行っていた分銅校正は無効となります。

## 10章 その他




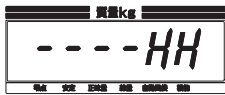

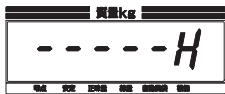
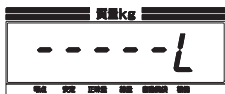


### 10-1. オプションについて

DP-6301 II では、様々なオプションを用意しています。オプションに関するお問い合わせは、ご購入された販売店までお願いします。尚、ご購入後に工場出荷オプションの購入をご希望される場合、一度、はかりを返送していただく必要がありますので、ご了承ください。

	オプション名	機能説明
①	無線通信ユニット (ZBee、Bluetooth™) (工場出荷オプション)	弊社専用ソフトを利用して、無線を使ったはかりとパソコン間でのワイヤレス通信ができます。
②	無線プリンタ (Bluetooth™無線通信ユニット付き) (工場出荷オプション)	弊社指定の無線プリンタと接続し、計量データを印字することができます。
③	ジャーナルプリンタ JPS-510 (工場出荷オプション)	弊社指定のジャーナルプリンタ (はかりと一体型) と接続し、計量データを印字することができます。
④	リレー接点入出力 (工場出荷オプション)	軽量・適量・過量のリレー接点出力と、風袋引き・零点リセット信号を外部より入力することができます。
⑤	RS232C 入出力 (工場出荷オプション)	RS232C出力ケーブルを介してはかりとパソコンを接続し、計量データをパソコンに取り込むことができます。
⑥	USBメモリ (工場出荷オプション)	USBメモリを介して、計量データをCSV形式のファイルでパソコンへデータを出力することができます。
⑦	音声ランク出力ユニット (工場出荷オプション)	ランク選別機能使用時、専用音声ユニットを利用して、音声案内にて各ランクを識別することができます。
⑧	赤外線リモコン	マルチファンクション設定専用のリモコンを使って、マルチファンクションの設定を簡単に行うことができます。
⑨	マトリクス組合せ機能 (工場出荷オプション)	ランク選別用の簡易組合せ機能で、重い品物・軽い品物を組合せて、合計質量の平均化を図ることができます。















## 10-2. 表示エラーについて

下記のような表示が出たら表示エラーですので、対処方法に従って対処してください。下記以外の表示がでた場合や、下記方法でも回復しない場合は、お買い上げの販売店までご相談願います。




表示内容	原因	対処方法
質量計量不能 	質量が-5目量未満の場合に表示します。	零点リセットキーを押してください。また載台カバーを取り外した場合は、再度、載せてください。
質量計量不能 	質量が+6目量以上の場合に表示します。	計量物を取り除くと質量表示になります。はかりのひょう量内で使用してください。
質量計量不能 	質量検出部分に異常があります。	一度、電源をオフし、しばらくしてから再度、電源をオンしてください。
質量計量不能 	重い物を載せたまま電源をオンした場合に表示することがあります。	載台に何も載せずに電源をオンしてください。
質量計量不能 	はかり本体と載台の隙間に何か物が詰まっている状態で電源をオンした場合に表示することがあります。	物が詰まっていないことを確認してください。また、他の物が載台に触れていないことを確認してから零点リセットキーを押してください。
質量計量不能 	はかりの使用量、重たい計量物を載せて零点リセットキーを押した場合に表示することがあります。	零点リセットできる範囲を超えています。載せた計量物を取り除いて零点リセットキーを押してください。
質量計量不能 	載台に何か載せたまま電源をオンし、その後、取り除いてキーを押した場合に表示することがあります。	載台に何も載せずに電源をオンしてください。
プリンタエラー 	プリンタのロール紙がセットされていないか、プリンタの蓋が開いている可能性があります。	ロール紙をセットし、プリンタの蓋が閉まっていることを確認した上、電源をオンしてください。
通信時の異常 	通信プログラムソフトまたは通信媒体が起動していないか、通信距離範囲外の可能性があります。	通信媒体が起動していることを確認し、はかりを通信媒体に近づけて電源をオンしてください。 このエラーを一時的に解除したい場合は、 <input type="checkbox"/> ※ を押し続けてください。電源をオフするまでエラーが解除され、計量が可能となります。

表示内容	原因	対処方法
電子回路の異常 	電子回路に異常が発生した場合に表示します。	一度、電源をオフし、しばらくしてから再度、電源をオンしてください。
電子回路の異常 	電子回路に異常が発生した場合に表示します。	一度、電源をオフし、しばらくしてから再度、電源をオンしてください。
スパン調整エラー 	分銅校正に使用した分銅が質量値と異なっている可能性があります。	使用する分銅を確認し、再度、分銅校正を行ってください。それでも回復しない場合は、お買い上げの販売店までご相談願います。
電子回路の異常 	電子回路に異常が発生した場合に表示します。	一度、電源をオフし、しばらくしてから再度、電源をオンしてください。
E2PROM書き込みエラー 	E2PROMへの書き込み内容に異常がある場合に表示します。	一度、電源をオフし、しばらくしてから再度、電源をオンしてください。
電子回路の異常 	電子回路に異常が発生した場合に表示します。	一度、電源をオフし、しばらくしてから再度、電源をオンしてください。
電子回路の異常 	電子回路に異常が発生した場合に表示します。	一度、電源をオフし、しばらくしてから再度、電源をオンしてください。
電子回路の異常 	電子回路に異常が発生した場合に表示します。	一度、電源をオフし、しばらくしてから再度、電源をオンしてください。
E2PROM書き込みエラー 	E2PROMへの書き込みに制限がかかっている場合に表示します。	一度、電源をオフし、しばらくしてから再度、電源をオンしてください。
Bluetooth™通信時の異常 	Bluetooth™通信ソフトまたは無線プリンタが起動していないか、通信距離範囲外の可能性があります。	左記通信媒体が起動していることを確認し、はかりを左記通信媒体に近づけ、再度、電源をオンしてください。
USB接続エラー 	USBが差し込まれていない場合、もしくはUSB回路に異常が発生した場合に表示します。	USBメモリが正常に差し込まれているかを確認した上、電源をオフし、しばらくしてから再度、電源をオンしてください。



表示内容	原因	対処方法
電子回路の異常 	電子回路に異常が発生した場合に表示します。	一度、電源をオフし、しばらくしてから再度、電源をオンしてください。
プリンタ充電時間の超過 	ジャーナルプリンタへの充電時間が10秒を超えた場合に表 示します。	一度、電源をオフし、しばらくしてから再度、電源をオンしてください。
電子回路の異常 	電子回路に異常が発生した場合に表示します。	一度、電源をオフし、しばらくしてから再度、電源をオンしてください。
電子回路の異常 	電子回路に異常が発生した場合に表示します。	一度、電源をオフし、しばらくしてから再度、電源をオンしてください。
電子回路の異常 	電子回路に異常が発生した場合に表示します。	電源をオフし、しばらくしてから再度、電源をオンしてください。それでも回復しない場合は、お買い上げの販売店までご相談願います。
プリンタエラー 	無線プリンタのバッテリー残量がなくなった場合に表示します。	無線プリンタ付属のバッテリー充電専用アダプタにて無線プリンタを充電してください。
プリンタエラー 	無線プリンタからの応答がなかった場合に表示されます。	はかりと無線プリンタの電源をオフし、しばらくしてから再度、電源をオンしてください。
プリンタエラー 	無線プリンタの温度が上昇した場合に表示します。	プリンタの電源をオフし、しばらくしてから再度、電源をオンしてください。
設定値の異常 	マルチファンクションの設定中に異常な値が入力されています。	 を押して、もう一度、設定をやり直してください。
USBメモリエラー 	USBメモリ未接続時に表示します。	 を押してエラーを解除し、USBメモリを挿入してください。
USBメモリエラー 	USBメモリの空き容量がありません。	 を押してエラーを解除し、USBメモリに書き込まれたデータをパソコンでバックアップするなどし、空き容量を増やしてください。



表示内容	原因	対処方法
USBメモリエラー 	CSVファイルが読み取り専用 に設定されています。	USBメモリにデータを書き込むファイル がパソコンで“読み取り専用”に設定さ れています。 <input type="checkbox"/> ※ を押してエラーを解除し、“読み 取り専用”を解除してください。
USBメモリエラー 	USBメモリへの書き出し時間 が長すぎます。	<input type="checkbox"/> ※ を押してエラーを解除し、再度計 量をやり直してください。
USBメモリエラー 	USBメモリのメモリチェック 中に計量した可能性があります。	<input type="checkbox"/> ※ を押してエラーを解除し、再度計 量をやり直してください。再度エラーが 出る場合は、USBメモリを挿し直してく ださい。

### 10-3. 仕様書

■製品の外観・仕様については、改良のため予告なしに変更することがあります。

1. 品名 (型式) DP-6301 II
2. 計量方式 電気抵抗線式
3. 載台寸法 W500mm×D350mm
4. ひょう量系列

□DP-6301 II (検定品) 精度 1/3200もしくは1/3000

ひょう量	目量	最小測定量	最大減算式風袋量	ランク選別時詳細設定目量
32kg	0.01kg	0.2kg	32kg	0.002kg
60kg	0.02kg	0.4kg	60kg	0.01kg
150kg	0.05kg	1kg	150kg	0.01kg






□DP-6301 II (無検定品) 表示分解能 1/6400もしくは1/6000、保証精度 1/3200もしくは1/3000

ひょう量	目量	最小測定量	最大減算式風袋量	ランク選別時詳細設定目量
32kg	0.005kg	0.1kg	32kg	0.001kg
60kg	0.01kg	0.2kg	60kg	0.002kg
120kg	0.02kg	0.4kg	120kg	0.01kg

#### 5. 表示部

表示管	蛍光表示管 (7セグメントタイプ)		
数字サイズ	メイン表示部	: W15mm×H32mm	
表示内容	質量表示	: 最大6桁	
	零点サイン ( ▼ )	: 零点中に点灯	
	安定サイン ( ▼ )	: はかりが安定しているときに点灯	
	正味量サイン ( ▼ )	: 風袋引き中に点灯	
	総量サイン ( ▼ )	: 風袋引き中の総量表示時に点灯	
	自動風袋サイン ( ▼ )	: 自動風袋引き機能有効時に点灯	
	機能 (マルチファンクション) サイン ( ▼ )	: マルチファンクション機能使用時に点灯	
	過量ランプ (黄色)	: 定量計量・チェッカ機能使用時に点灯	
	適量ランプ (青色)	: 定量計量・チェッカ機能使用時に点灯	
	軽量ランプ (赤色)	: 定量計量・チェッカ機能使用時に点灯	

#### 6. 操作部

-  : 電源ON/OFFキー、マルチファンクション設定キー
-  : 総量・正味量切替モードキー、設定キー (入力値の決定用)
-  : ※キー、デクリメントキー (入力値ダウン用)、データ送信キー (オプション時)
-  : 風袋引きキー、インクリメントキー (入力値アップ用)
-  : 零点リセットキー、桁送りキー

## 7. 機能

- (1) デイマータイマー機能 : 使用しない時間が設定分続くと輝度を最も暗い状態に自動変更する機能
- (2) ワンタッチ風袋引き機能 : 風袋引きキーを押すことで風袋引きする機能
- (3) 自動風袋引き機能 : 零点の状態から最初に計量した値を風袋物とみなし、その質量値を自動で風袋引きする機能
- (4) 総量・正味量切替機能 : 風袋引き中に総量と正味量を選択し切り換えて表示する機能
- (5) マルチファンクション機能
  - a. 定量計量機能 : ターゲット値表示（マイナス）から始まり、適量で零表示となる機能
  - b. チェッカ機能 : 零表示から始まり、計量中に“軽量”“適量”“過量”を判定する機能
  - c. ランク選別機能 : 質量値をランクにて表示する機能（加算式、減算式）
  - d. 計数機能 : 質量値を個数にて表示する機能
  - b. 減算式チェッカ機能 : 取り除いた質量に応じて“軽量”“適量”“過量”を判定する機能
- (6) ブザー機能 : 軽量、適量、過量に応じてブザー音を発音する機能  
データ通信時に送信を知らせる機能等
- (7) LED点灯機能 : 軽量、適量、過量に応じてLEDを点灯する機能  
ランクに応じてLEDを点灯する機能

## 8. 外観

- (1) 寸法 : 370mm×625mm×815～835mm
- (2) 自重 : 約15kg
- (3) 材質 : 指示計：樹脂成型品、計量部：ステンレス（SUS304）

9. 防塵・防水保護 : IP65準拠

10. 電源 : AC100V（-10%～+15%） 50/60Hz

11. 消費電力 : 10W

12. 適用法規 : 日本国計量法新検則 JIS B7611-2 2009（検定品のみ）

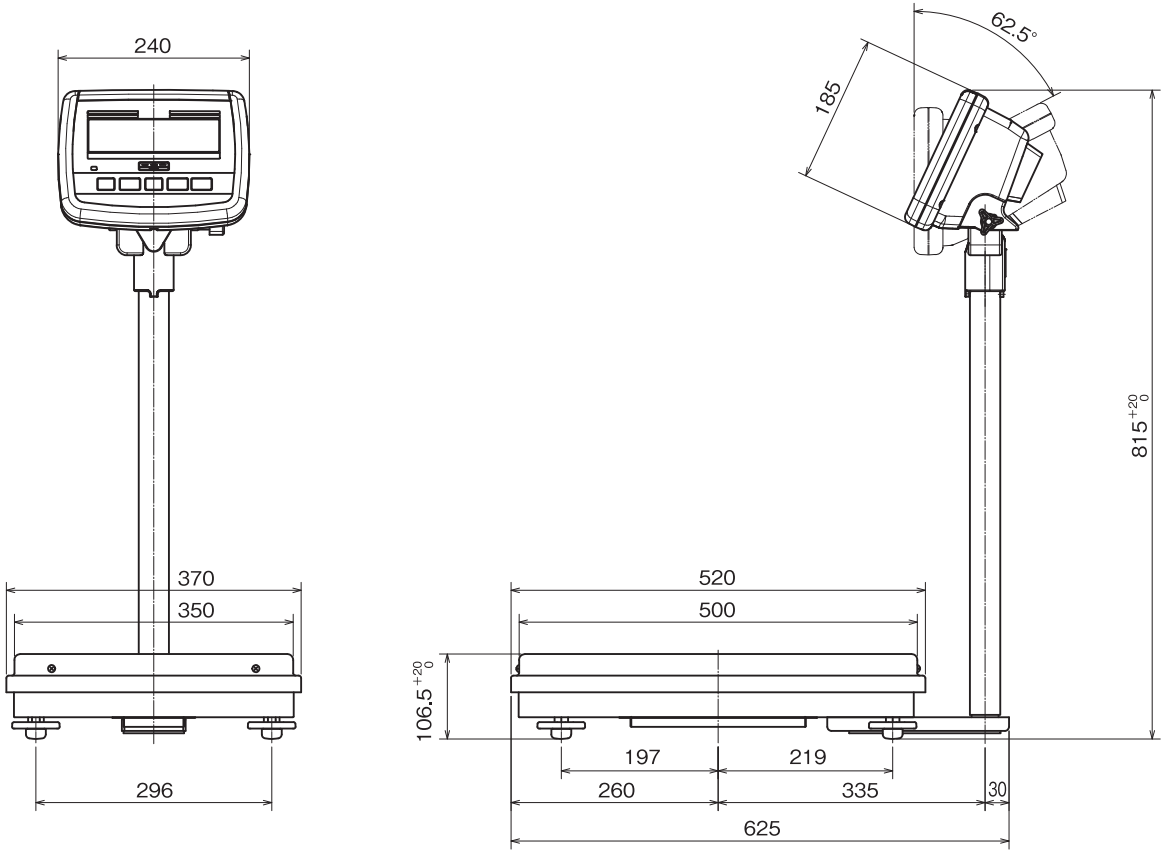
## 13. 使用条件

- (1) 使用温度範囲 : -10℃～+40℃
- (2) 使用湿度範囲 : 30%～85% R.H.（結露無きこと）

## 14. オプション

- : 無線プリンタ（Bluetooth™）BLM-80BT
- : 無線通信ユニット（ZBee、Bluetooth™）
- : ジャーナルプリンタJPS-510
- : リレー接点入出力  
（出力信号（軽量、適量、過量）、入力信号（零、風袋））
- : コネクタD-SUB\_9ピン（メスクロス、メスストレート）
- : RS232C入出力、コネクタD-SUB\_9ピン（メス）
- : USBメモリ
- : 音声ランク出力ユニット
- : 赤外線リモコン

# 10-4. 外觀寸法圖





信頼・技術・創造

# 大和製衡株式会社

本社営業	〒673-8688	兵庫県明石市茶園場町5番22号	TEL.078-918-6540
東日本支店	〒105-0013	東京都港区浜松町1丁目22番5号	TEL.03-5776-3123
中日本支店	〒460-0008	名古屋市中区栄5丁目27番14号	TEL.052-238-5731
千葉営業所	〒264-0025	千葉県若葉区都賀4丁目8番18号	TEL.043-214-3920
九州営業所	〒812-0018	福岡市博多区住吉4丁目3番2号	TEL.092-471-1921
		浜松町センタービル4階	
		朝日生命名古屋栄ビル5階	
		ショー・エム都賀1階	
		博多エイトビル1階	